

## 後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針評価書

政 策 : 03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

基本施策 : 03 農林業の振興と担い手の支援

主管課長職・氏名	農林課長 松本 理
関係課長職・氏名	

### 1. 基本施策の令和 4年度までの実現状況を明らかにする

#### (1) 基本施策が4年間でめざす姿

農業従事者の高齢化・就業人口の減少や農産物価格の低迷、資材の高騰などに加え、TPP11、日欧EPAの発効や新型コロナウイルス感染症、豚熱、鳥インフルエンザ等のウイルスの発生など農業を取り巻く環境は厳しさを増しています。こうした中、農地集積の推進、畜産の振興及び特産品づくり等により、次代の担い手の育成に努め、経営の安定化を目指します。また、農地や森林の持つ多面的機能の発揮は、広く一般市民の方々にも寄与していることから、多面的機能支払交付金などの日本型直接支払制度の実施や森林環境譲与税の活用により、農地や森林の適正な管理をめざします。また、産直施設との連携を強化し、食の安全・安心を基本に地産地消を推進し、持続可能な農林業を育成します。

#### (2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)	
1	暮ら し 単 位 %以上 農業後継者（販売農家）の有無の割合（令和2年度から後継者を確保している経営体の割合）	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	D	
			58.6	37.6	37.6	37.6	37.6	0.0	
2	幸 福 単 位 % 身に着けた知識や技術を仕事や趣味の場で生かせる機会があると感じる人の割合	36.3	39	43	46	50	50	D	
			36.6	36.3	34.7	35.1	35.1	△8.8	
	単 位								

#### (3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施 策 名 施 策 目 標 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)	
1	暮ら し 単 位 % 03030100 担い手の育成、生産基盤の整備による持続的な農業の振興 農業後継者（販売農家）の有無の割合	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	D	
			58.6	37.6	37.6	37.6	37.6	0.0	
2	暮ら し 単 位 % 03030200 森林整備による林業の振興 豊かな自然がたくさん残っていると思う人の割合	76.2	77.9	79.6	81.3	83	83	C	
			79.9	79.3	80.8	77.7	77.7	22.1	
	単 位								
	単 位								
	単 位								

## 後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針評価書

政 策 : 03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

基本施策 : 03 農林業の振興と担い手の支援

主管課長職・氏名	農林課長 松本 理
関係課長職・氏名	

## 2. 基本施策の実現に向けての令和 4年度までの取り組み状況を分析する

## (1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> <li>担い手育成については、3地区において地域ぐるみで農地中間管理事業に取り組み、うち2地区で法人が設立されることにも、農地集積が進みました。</li> <li>森林環境譲与税を活用し、森林所有者の意向調査や現況調査を実施しました。</li> <li>新型コロナウイルス感染症や物価高騰対策として、農産物PR、畜産業者支援、収入保険加入促進、肥料価格等高騰対策等を実施し、農業者等を支援しました。</li> </ul>	

## (2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、令和 4年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域ぐるみの農地中間管理事業への取組による担い手への農地集積</li> </ul> <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域ぐるみの農地中間管理事業では2地区で法人が設立され担い手への農地集積が進みました。また、併せてデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用した「スマート農業からキズクしくみづくり事業」に取り組み、既存法人を加えた3地区で農業機械の導入等を行い、地域農業を守るための仕組みづくりを行いました。これらの取組により達成しました。</li> </ul>	

## 3. 基本施策の実現に向けての令和 4年度実施後での変化を認識する

## (1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<ul style="list-style-type: none"> <li>ウクライナ危機などの海外情勢の変化による生産コストの高騰</li> </ul>	

## (2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>政策達成のため、引き続き同一内容の基本施策に実施が必須であるため、見直しの必要はありません。</p>	

## 4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

## (1) 令和 6年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <p>引き続き農林業の振興と担い手の支援に関する取組を進めます。</p> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人・農地プランの実践と地域計画の策定</li> <li>森林環境譲与税を活用した民有林の整備</li> </ul>	

